事系	务事	業実績	責測定調	書												
事	務事	業名称	校務用ICT	後器等	9管理	運営業務	务									
	測定	年度	2021	(R3)	年度			部	À	学校教育部		課	Ž	教育研修課		
市長	公約	との関係	所信表明	月			市政運営方針	R2		R3		R4				
				本目	標		3.一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち						
総	合計	画体系	施	策目	標		16.子どもたちの)生きる力を	育む教育が	充実したま	5					
				行計画	画名		16-3.学校園施	設等の整備	Ħ							
1. 事		事業の概		Laura Arrivo	1		4+14		I law		_			Att L day fet	e atre also The	
	種 恵業		<u></u>	部管		10) /: #	特性	左庇		事務		区分		一般内部管	生事務年度まで	
	事業		決裁	20	06 (H	18)年度		年度	~						年度まじ	
		1金名称	1/100								サンセット					
10.00		機関名称									92 E9F					
河ボ	川周	成因石砂	J ハ.カ	ب الله	. L	小中学	交の教職員									
事業対象		メインター サブター			小甲子的	文の教献貝										
			ターゲットが 題		. る誄	教職員の	の校務事務の努	動率的な運	₹。							
			ターゲットが		る課											
			題	i												
	かざす															
		き姿 決した状	校務用ICT	幾器等	等の適	切な管理	里ができており、	教職員が多	安全に効率よ	く事務を行	うことができ	5.				
	態															
			A		P.V			fate and the six								
							用コンピュータの こ基づく資産管			亜州を宝田・	ナスため 甫	田ソフトウェ	アの利廷田	ルトス桂却、	カキュリティ	
:	事業	概要	レベルの維持				C 基 7 人員 庄 官	生人 いりつ	ルへ対象の	女件を夫先	りるため、与	・用ノノトソエ	・ノマノを引百八、	による。同様	ヒイユリノイ	
			・資産管理ン	クトウ	フェアリ	こよる機器	器の状況及びソ									
			・ネットワーク	強靭	化の	ため、教	育系と本庁系ネ	ドットワークの	つ分断に伴い	、学校で本	庁系ネットワ	ークを使用	できるコンヒ	。ュータの配	備を行う。	
0 -	128	クナギュ	ひょぐ+ヒ+西ョ	л —												
∠. ∟	レンツ	クモナル	及び指標語									T		_0_1		
					アワI (活動	カム 効果)				·プット 結果)				プット ·動)		
					(70 30)	<i>M</i> /A/		(活動結果)				(/口到/)				
п.	· ` <i>F</i>	モデル														
ш	ンツン	モナル										事 校務用ICT機器に必要なセキュリティ対策を				
								故がなく使用できている。				講じ、適正は	に管理を行	Ō.		
					アウ	カム			アウト	プット			イン	ブット		
ı					(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)		
													対策を講じ	た校務用コ	ンピュータ	
								L- 11-	本北の水は	. 44.		の割合	. h 11= .4	レゲナーサルー) , 7 +5 75 III	
	指	標説明						セキュリティ	ィ事故の発生	:		【昇出八:で	インリナイズタ数 / 仝校え	け策を講じて 务用コンピュ	いる仪務用	
												100]	/ M/ LIM	7/11-0	/ 44.11	
指						単位				単位	件			単位	%	
標	指	標種類						減少	〉することが ほ	良いとされる		増加	することが	良いとされる		
設指			R2	R	3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
定	標	(見込						0	0	0	0	100	100	100	100	
	数 値	<i>7</i> 4)						0	0			100	100			
		実績						0	0	00/		100	100	00/		
	1	達成度							10	0%			10	0%		
		/\ +⊏						情報セキュ	リティ事案は	なく、校務月	用機器も安	安 対象となる端末すべてにセキュリティ対策が講				
		分析							情報セキュリティ事案はなく、校務用機器も安全かつ安定的に稼働している。				じられている。			
								i				Ī				

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	8,017	9,171	6,286		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,400	0	0		
歳	件	特別職非常勤	_	0	0		
出	費	附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	10,417	9,171	6,286		
	物件	-費計	81,175	82,420	81,406	85,846	95%
		歳出計	91,592	91,591	87,692		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	·者負担(使用料·手数料)	0	0	0	0	
入	市債	į	0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	91,592	82,420	81,406	85,746	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>校務用PCのセキュリティ対策を引き続き行うため、新たな認証システムの契約を行い、適正に運用管理を行うことができている。 セキュリティ事故も生起していない。

6. 今後の方向性 区分 見直し

今後の 取組方針

校務用PCの認証システム賃貸借契約の終了に伴い、セキュリティの維持と利便性の確保を図るため、PC認証システムを更新する。

事務	务事	業実績	責測定調	書										
		業名称		设化推進事業	Ę									
ž	則定	丰度	202	21(R3)年度			部	Ä	学校教育部		課	孝	效育研修課	
市長	公約	上の関係	所信表	明	市	政運営方針	R2		R3		R4			
			2	基本目標	3	一人ひとりの	成長を支え、	、豊かな心を	育むまち					
総食	合計画	画体系	ħ	拖策目標		子どもたちの				ち				
	-76-	- All - Inv		行計画名										
1. 事		事業の概		□ 11. 12.a		4+ 44		722.4cm A	7 丰 米		E /\		nn. =tr √	7 - 1 1
3	種類 事業類		巾.	民サービス 2014(H2	26) 年度	特性	年度	選択日	内事業		区分		一般事務	年度まで
		· 令等	「数音の情		/ 1 50	年4月28日:		<u> </u>						十尺よく
12.	1,,,,,,	金名称	- 4X FI -> III -	TK LL V J V](1/2/20	1 1/120 1	<u> </u>	17		サンセット			~	
		機関名称								72 271				
יאו נאו	-1111-41	XIXI 1111	メインタ	ーゲット	小中学校0	り数職員								
_	ار علاد 			ーゲット	., , , , ,	2 4X1945K								
事業対象			ようたって 1 田	2011										
		_	通	学校で使用	月している帳	票等の作成	の煩雑さ、管	管理の困難さ	Z.					
		ターゲットカ	が抱える課											
4.14.1 次			是	<u>負</u>										
めざす姿、 あるべき姿														
			校務の情報	み化により、 児	君童生徒の	情報が一元位	'とされ教職」	員の事務効率	率化が図られ	1ている状態	and o			
(課題が解決した状 態)														
			校務支援シ	/ステムを導	入し、学校に	こおける児童	・ 生徒の情	報を電子化	して一元管	埋し、その情	報を通知表	: 指導要録	、出席簿等	の作成や、
3	事業権	斯	成績•保健	管理等に活	用することで	で、教職員の	事務を軽減	し、児童・生	徒と向き合	う時間の確保	呆と、よりきめ	細かな指導	による教育	の質の向
-	于木 1	w y		また、個人情	報等を含む	ァデータをサ	ーバにより-	-元管理する	5ことで個人	情報の持ち	出しを防ぎ、	学校内の情	青報セキュリ	ティの向上
			を図る。											
2. 🏻	ジッ	クモデル	及び指標	設定										
				アウト	・カム			アウト	プット			イン	プット	
				(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)	
ロシ	ブック	モデル	粉 職員の	児音・生徒し	一向き合う時	間が確保さ	児音•生徒	に低ス情報。	が一元管理	され情報化				
			れる。		-1110 11 7111	国が、地田小で	児童・生徒に係る情報が一元管理され情報化 が促進される。				[・] 校務支援システムを安定的に運用する。			
											インプット			
				アウト (活動			アウトプット (活動結果)					イン		
Г				11,00				(石刻	和木/			\/□	到/	
				ートにて「校			人 <i>士然</i> 旧 <i>土</i>	5 (L/+) = 1×	(ユフヽ.っ.こ.)	₹ Δ⊒ 35				
	116	ITT=V ==	効率化のシ た割合	<i>、</i> ステムとして	. 有用 じめる	〕と凹合し		€・生徒にお ✓ステム登録			校務支援シ	/ステムの不	旦 合発生数	
	指	標説明	【算出式:ア	ンケートにつ	て「有用であ	る」と回答	徒数×100		1 3// 1.11	.7670=	N111/2/200	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> Д</u>	`
			した人数/	アンケート回]答者数×]	100]								
指					単位	%			単位	%			単位	日
標	指	標種類	増加	することが良	良いとされる		増加	することが	良いとされる		減少	ゝすることが且	良いとされる	指標
設	指	日保	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	(見込	-	100	100	100	100	100	100	100	0	0	0	0
	値	実績	_	97			100	100			0	0		
-		<u>天順</u>		97	7%		100		0%		0	10	0%	l
	Æ	二人汉		91	70			10	V/0			10	U /U	
				こ回答した教			が致士伝い	クテルアル	仝 左鎔旧辛	・仕往に撃				
	:	分析	人が有用で	ぎあると回答し	_ン 、本システ	ムが事務	校務支援システムには全在籍児童・生徒に登録され、安全かつ効率的に運用されている。				校務支援システムは安定的に稼働している。			
			効率化に寄	序与している	ことが伺われ	16。								
	l]					

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	4,009	5,184	4,714		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	4,009	5,184	4,714		
	物件	費計	19,628	21,670	25,931	26,054	100%
		歳出計	23,637	26,829	27,675		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	23,637	21,645	22,961	22,962	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>校務支援システムを使用することで教職員の事務の効率化につながっている。

6. 今後の方向性 区分

拡充

今後の 令和4年2学期からデジタル採点システムを全中学校に導入して、採点から成績処理の負担を軽減するとともに、生徒の弱点を把握し個別最適な学 取組方針 びにつなげる。

事務事業実績測定調書														
	労争未失れ <mark>務事業名称</mark>	貝/別/仁 神 音 小中学校教育用			1 类									
尹	測定年度			谷守笠 佣手	**************************************	部	ř	学校教育部		課	=======================================	教育研修課		
		2021 (R:			el. VE. W. 1- Al					H-1-	4			
巾長	公約との関係	所信表明			政運営方針		<u> </u>	R3		R4				
4/12	合計画体系	基本施策)の成長を支え、豊かな心を育むまち ちの生きる力を育む教育が充実したまち								
形态	古 司 画 体 术	ル 東 実行計					月む教育が		9					
1 =	事務事業の概		11 🖾 "	10	1.007.	TG.9/1C-1	-77 C H U 4X	H 421EYE						
•••	種類	市民サ	ービス		特性 選択的事業					区分		一般事務	事業	
	事業期間		1991 (H	3)年度		年度 ~				年度まで				
₹	艮拠法令等	文部科学省 新	听学習指	導要領								•		
関係	系補助金名称	公立学校情報機器	器整備補	前助金・公立学	学校情報通信	ネットワーク類	環境施設整備	費補助金	サンセット			~		
関係	附属機関名称													
		メインターゲット 市立小中学校の児童生徒												
事業対象			サブターゲット 市立小中学校の教員											
		ターゲットが抱え	- 7 - m	甲並が甲子校の教員 児童生徒が情報活用能力を向上する必要がある。										
		題	- Jun	児重生徒が	*情報估用能	E刀を同上す	「る必要があ	る。						
		ターゲットが抱え	える課	数目のでで	、活田	1生の向しる	. 心亜でなる							
		題												
ō	めざす姿、 あるべき姿 風が解決した状 態)	児童生徒がいつでも学校や家庭でタブレット端末を活用できる環境を整備し、タブレット端末を活用して、主体的・対話的で深い学びを実た状 させ、子どもたちの情報活用能力の育成、教育の質の向上を図ることができる。									学びを実現			
		資質・能力が一 1. ICT環境整例 (1) 教員及び児 (2) 大型提示装	備 記童生徒											
	事業概要	(3)学校におけ (4)授業支援ソ 2. ICT維持管理 (1)ヘルプデス (2)学校のイン (3)学校のネット 3. ICT活用推奨 (1)ICT支援員 (2)GIGAスクー	ける校内I フトの理 クースターフー ターフー クリー・教 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	LAN及び通 用 ト回線通信 こかかるUT の支援	の周辺機器 信ネットワー 費 「M更新ライ	の整備 −ク環境の惠	修備							
		(3) 学校におけ (4) 授業支援ソ 2. ICT維持管理 (1) ヘルプデス (2) 学校のイング (3) 学校のネット 3. ICT活用推奨 (1) ICT支援員	る校内I フトの フトの ファック ファック ファック は で で で で の で の で の で の り り の り の り り の り り り り	AN及び通用 ト回線通信 こかかるUT の支援 ーター委託	の周辺機器 信ネットワー 費 「M更新ライ	の整備 −ク環境の惠								
		(3) 学校におけ (4) 授業支援ソ 2. ICT維持管理 (1) ヘルプデス (2) 学校のイング (3) 学校のネット 3. ICT活用推奨 (1) ICT支援員 (2) GIGAスクー	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	AN及び通用 ト回線通信 こかかるUT の支援 パーター委託	の周辺機器 信ネットワー 費 「M更新ライ	の整備 −ク環境の惠	アウト					ブット 番h)		
2. [(3) 学校におけ (4) 授業支援ソ 2. ICT維持管理 (1) ヘルプデス (2) 学校のイング (3) 学校のネット 3. ICT活用推奨 (1) ICT支援員 (2) GIGAスクー	to フェート	AN及び通用 ト回線通信でいた。 トロ線通信であるUTの支援 パーター委託 ・カム 効果) 能力が向上	の周辺機器	の整備 -ク環境の裏	アウト (活動 P家庭学習で 用する場面が	結果) ご子どもたち が増える。	のタブレッ	ICT環境を して授業を	(活整備し、教) を備し、教)	<mark>動)</mark> 員がICTを有	有効に活用	
2. 🛭	コジックモデル	(3) 学校におけ (4) 授業支援ソ 2. ICT維持管理 (1) ヘルプデス (2) 学校のイング (3) 学校のネット 3. ICT活用推奨 (1) ICT支援員 (2) GIGAスクー	to 校内I で	AN及び通用 ト回線通信でいた。 トロ線通信であるUTの支援 ペーター委託 ・カム 効果) ・カム	の周辺機器	の整備 -ク環境の裏	アウト (活動 ² 家庭学習で	結果) ご子どもたち が増える。 <mark>プット</mark>	のタブレッ		(活整備し、教! 行う。	動)	有効に活用	
2. 「口」	コジックモデル	(3) 学校におけ (4) 授業支援ソ 2. ICT維持管理 (1) ヘルプデス (2) 学校のイング (3) 学校のネット 3. ICT活用推奨 (1) ICT支援員 (2) GIGAスクー	tach tach tach tach tach tach tach tach	AN及び通信では、	の周ネットワー する。 学は、からと 設問 に 対 で はいの から と	の整備 -ク環境の事 センス 学様末を 者・か・に、こう に中に は し に で は に り に り に し に し に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 に し 、 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と	アウト (活動 で) (活動) (活動) (活動) (活動) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	結果) デ子どもたち デオリンク おります。 デオリンク おります。 デオリンク にしている にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる	学習や生 か学校生活 ますか。 引合 の設問に対	して授業を 教チェンピョーで、「 カーリンス・フェント から。 【算出式:ア	整備し、教見行う。 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	動) 動がICTを有 ブット 動) は関のICT活が 効果を上げが ネットなどの さができますと できる」として こと回答した	用指導力 るために、 るために動 か。」の問 回答した割 の設問に対	
2. 「	コジックモデル ジックモデル 指標説明	(3) 学校におけ (4) 学校におけ (4) 授業支援グ 2. ICT維持管理 (1) ペルプのイング (3) 学校のネッグ 3. ICT支援の (1) ICT支援の (2) GIGAスクー 及び指標設定 子どもたちの情 保護者・児竜状変を 子どもたちの情 保護者・児童生況 使用がありますか。 た割出式:アンケ し「ある」と回答し 数×100】	ta フ理クタト進域の 校の ボークリー・数託・ ア活 大での ボークリー・数託・ ア活 大での 大での 大での 大での 大での 大での 大での 大での	AND で	の信 費 M	の整備 - ク 撃備 - ク 撃備 - ク 撃 境の 整	アウト (活動) デ家庭場場で アウト動 童生視視をどの使いる」 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	結果) デ子どもたち が増える。 プット 結果) アンケート「現でいる」と アントのる」と でいることした人 単位	学習や生 の学校生活 ますか。」の だした割合 の設問に対 女/アン %	して授業を 教チェッピュークリス・シークリスを計画対し、 合。 は式こア し「でも回答」	整備し、教 行う。 イン (活 ンケート「教 アやインター おの「か できる」「や ンケートにて きる」「や さる」 ・ と と いっている と と いっている と いっている と と いっている と りっている と りっている と りっている と りっている と りっている りっとっ りっ りっ りっ りっ り りっ り り り り り り り り り	動) jがICTを有 ブット 動) に関のICT活活 効果を上げ、 ネットなどの やできる」として こと回答した 単位	用指導力るために、利用場面か。」の問題では、利用場面の設問に対した割の設制に対した数/アン	
2. 「口」	コジックモデル ジックモデル	(3) 学校におけ (4) 学校におけ (4) 授業支援グ 2. ICT維持管理 (1) へルグのイング (3) 学校のネッグ 3. ICT支援員 (2) GIGAスクー 及び指標設定 子どもたちの情! 保護者・児童生況 使用がありますか。 た関連出式:アンケ し「ある」と回答し 数×100】	A	AN及び通信では、 になった。 にな。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	の信 費 M	の整環 一ク 整環境の を で 対式 を を を を を を を を を を を を を	アウト (活動) 学家庭学習面が アウト (活動) 童生徒調の使ったでは、 では、ことでは、ことが手ですることが手ですることが手できます。	結果) デ子どもたち が増える。 プット 結果) アンケート「間でいきに、 でいることので、 でいることをした人 単位 こいとされる	学習や生 の学校生活 ますか。」の ました割合 の設問に対 女/アン 場標	して授業を 教員向けアメンピュークリス・シークリス・シークリス・シーク・シーク・シーク・シーク・シーク・シーク・シーク・シーク・シーク・シーク	整備し、教見です。 整備し、教見でする。 イン (活) ンケート「教育である」「やできる」「やできる」「やできる」「できる」「できる」「できる」「できる」「できる」「できる」「できる」「	動) 対がICTを有 プット動) は最のICT活動 効果を上げ みットなどの できる」と できる」と に対した 単位 ないとされる	用指導力 るために、 利用場面 か。」の問問 回答した対 人数/アン 人数/アン 「一%	
2. 「	コジックモデル ジックモデル 指標説明	(3) 学校におけ (4) 学校におけ (4) 授業支援グ 2. ICT維持管理 (1) へルグのイング (3) 学校のネッグ 3. ICT支援員 (2) GIGAスクー 及び指標設定 子どもたちの情! 保護者・児童生況 使用がありますか。 た関連出式:アンケ し「ある」と回答し 数×100】	ta フ理クタト進域の 校の ボークリー・数託・ ア活 大での ボークリー・数託・ ア活 大での 大での 大での 大での 大での 大での 大での 大での	AND で	の信 費 M	の整備 - ク 撃備 - ク 撃備 - ク 撃 境の 整	アウト (活動) デ家庭場場で アウト動 童生視視をどの使いる」 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	結果) デ子どもたち が増える。 プット 結果) アンケート「現でいる」と アントのる」と でいることした人 単位	学習や生 の学校生活 ますか。」の だした割合 の設問に対 女/アン %	して授業を 教チェッピュークリス・シークリスを計画対し、 合。 は式こア し「でも回答」	整備し、教 行う。 イン (活 ンケート「教 アやインター おの「か できる」「や ンケートにて きる」「や さる」 ・ と と いっている と と いっている と いっている と と いっている と りっている と りっている と りっている と りっている と りっている りっとっ りっ りっ りっ りっ り りっ り り り り り り り り り	動) jがICTを有 ブット 動) に関のICT活活 効果を上げ、 やできる」として、 できる。」として、 できる。 として、 できる。 として、 とて、 として、 として、 として、 として、 として、 として、 として、 として、 として、 として、 として として、 として として として として として として として として	用指導力 るために、 利用場面 か。」の問 回答した割 の設問に対 人数/アン	

56.70

95%

アンケートに回答した保護者・児童生徒 13,531人のうち7,672人が毎日使っていると回答し、家庭での使用が半数以上の割合で定着している。

90.30

106%

アンケートに回答した教員1,111人のうち1,010 人が肯定的な回答をしており、教員のICT活 用が進んでいることが伺える。

94

数値

実績

達成度

分析

92.70

116%

アンケートに回答した保護者・児童生徒 13,531人のうち12,551人が肯定的な回答をし ており、ほぼ活用が定着している。

					-カム 効果)				·プット 結果)				プット ·動)		
ロジ	ジックモ	≘デル②	子どもたち	の情報活用	能力が向上	する。	具体的には 価に対し「オ	具体的にはICT活用指導力に対する自己評価に対し「わりにできる」「ややできる」と肯定的な回答をした教員の割合が増加する。				学校のICT環境整備に伴い、ICTを活用した 授業を推進し充実させるため、教員のICTを 活用した授業をサポートするICT支援員の体 制を強化する。			
					カム 効果)				·プット ·結果)				プット ·動)		
指標設	指	神影	活にかかる 使って情報 相手にわか 面がありま た割合 【算出式:7	童生徒向け、状況調査」。 状況調査」。 まを集めてまいりやすく伝: すか。」の問 アンケートに 回答した人数	中、「授業でとめたり、自会たり、聞いた対し、「あいて上記内容の	は、iPadを 分の考えを たりする場 る」と回答し の設問に対	ICT活用指 りにできる」 た教員の害	「ややできる			ICT支援員 回数	が各学校に	で訪問する— 単位	-月当たりの	
定	指	標種類	増力	ロすることがI			増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
2	指	日保	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	標数	(見込	70	80	85	90	50	60	70	80	3	3	3	2	
	値	実績						88.30			3	3			
	這	建成度		11	6%			14	7%		100%				
	:	分析	アンケートに回答した保護者・児童生徒 13,531人のうち12,551人が肯定的な回答をしており、ほぼ活用が定着している。				アンケートに回答した教員1,111人のうち981 人が肯定的な回答をしており、自己評価も上 がっている。				ICT支援員が各学校に月3回訪問し、教員に対し授業準備や研修等の支援を行っている。				

3. 人員体制

	R3
正職員(再任用)	3.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

(千円)											
			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率				
		正職員、再任用、任期付	20,043	31,103	30,642						
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,400	0	0						
歳	件	特別職非常勤	-	0	0						
出	費	附属機関委員	1	0	0						
ш		人件費計	22,443	31,103	30,642						
	物件	費計	160,327	908,385	790,982	791,718	100%				
		歳出計	182,770	939,722	821,624						
	国庫	支出金	1,450	240,946	3,932	3,853					
		出金	0	0	0	0					
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0					
入	市債		0	229,300	0	0					
	その	他	0	6,727	0	0					
		歳入計	1,450	476,973	3,932	3,853					
		一般財源	181,320	431,646	787,050	787,865					

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>令和3年度以降タブレット端末等の本格運用を行っており、今後も安全かつ安定的な運用ができるよう学校ヘルプデスクやICTサポート支援員等と連 携して維持管理を行っていく。

6. 今後の方向性 区分

拡充

今後の 学習eポータルやAIドリルを導入し、学習ログからデータ分析による個別最適な学びや協働的な学びを実現させ、子どもたちの次代に必要な資質・ 取組方針能力を育成していく。

事系	务事為	美実 網	<u> </u>	書											
事	務事業	名称	教育文化セ	教育文化センター維持管理事業											
	測定年	度	202	1(R3)年月	芰		部	<u>}</u>	学校教育部		課	孝	放育研修課		
市長	公約と	の関係	所信表明	月		市政運営方針	R2		R3		R4				
				本目標		3.一人ひとりの月	成長を支え、	豊かな心を	育むまち						
総	合計画	体系		節策目標		16.子どもたちの)生きる力を	育む教育が	充実したま	ち					
, =	= 76 == .	Alk o lot		行計画名											
1.		業の概		1 th 7 th 2 th		#±##		H 47	市功		豆 八		加山十分7分	四古沙	
	種類 事業期		P	可部管理 1987 (S62)年度	特性	年度	~ 四部	事務		区分		一般内部管	年度まで	
	ず 木 勿 艮拠 法 令		決裁	1301 (302) 千汉	•	十尺							十尺よく	
	系補助金	- •	DC490							サンセット			~		
	附属機									12 211					
対が	1111月11以	为山小	メインター	ーゲット	古内小	中学校に勤務す	こ数職員								
		_	サブター			化センターで活		旧去							
事業対象			ターゲットカ		1		=	*****							
			ラーグッドが		教育に	関する専門的、	技術的及び	実践的な調	査研究を行	「なう機会が	少なくなる				
			ターゲットカ		Į.										
			題	į											
	かざす姿		1 1/		1	- - 1	# - I⇔«□• >			- 11.5-4-1	T ~ T + W	- 1361 2 🖂	lles able —) /// L-la Anha	
	あるべき		本施設の設理業務を実		ある、教育	育の充実及び文:	化の振興を	凶るため、旅	T設利用者(の快適な利力	书·利用者数	の増加を目	指して適止	な維持管	
	態)	(0/_1)(生木坊で大	ME 7 Wo											
					5 ~~ -t- \\\\\				/.→n /// l-la	felower 2 / - 2	1.3.		~16 Un b-1	/.=#. 1	
						を遂行するため! までの子どもたち									
	— alle low					施設利用者と公							占野の 人扱	が場として	
•	事業概	安													
						7犯活動、2. 各科			2、3. 施設の	の光熱費に位	系る予算の幸	执行			
			1. 施設・設備の修繕、5. 貸し室運営業務(受付、使用料の徴収等)												
2 П	バック	ナデル	及び指標語	公定											
	. , , ,		アウトカムアウトブットインブット												
					動効果)		(活動結果)				(活動)				
_:	ジックモ	デル													
	<i>,,,</i>	, , , ,					教育文化も	ンターが適	正に維持管	理される。	必要な施設保全や保守点検を行う。				
					ルカム				プット			インフ	ブット		
Г				(活動	動効果)			(活動	結果)			(活	動)		
								請費に係る	当初予算額	に対する					
	指揮	≣⇔ RB					決算額の害		## \ 100 \		修繕件数				
	指標説明								名目 × 1()()】						
	1117	נטנטו					【异山八.0	·算額/予算							
#5					単位	Ĺ			単位	% +E+==	<u>%=</u> }./1	·ナファ しょご	単位	件	
指標	指標	種類	R2	Þα			増加	することが耳	単位 きいとされる	指標		っすることが且 R3	しいとされる	指標	
標設	指標	種類	R2	R3	単位 R4	<u>R5</u>	增加 R2	することがE R3	単位 さいとされる R4	指標 R5	R2	R3	とされる R4	指標 R5	
標	指標	種類 日保 (見込	R2	R3			増加	することが耳	単位 きいとされる	指標			しいとされる	指標	
標設	指標指標	種類	R2	R3			增加 R2	することがE R3	単位 さいとされる R4	指標 R5	R2	R3	とされる R4	指標 R5	
標設	指標数値	種類 日保 (見込 み)	R2	R3			增加 R2 90	することが E R3 80	単位 さいとされる R4 80	指標 R5	R2	R3	とされる R4 10	指標 R5	
標設	指標数値	種類 けた で見込 み 実績	R2	R3			增加 R2 90 80	することが R3	単位 えいとされる R4 80	指標 R5 80	10 2	R3 10 2 18	とされる R4 10 0%	指標 R5 10	
標設	指標数値達用	種類 けた で見込 み 実績	R2	R3		R5	增加 R2 90 80 R全計画に	することが E R3 80 67	単位 まいとされる R4 80 様工事の与	指標 R5 80	R2 10 2 例年並みの	R3 10 2	R4 10 0%	指標 R5 10	

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。 (チ円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	11,224	11,165	13,357		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,584	2,245	2,181		
歳	件	特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	-	0	0		
ш		人件費計	13,808	13,410	15,538		
	物件	-費計	33,000	64,383	100,299	101,482	99%
		歳出計	46,808	77,793	115,837		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	·者負担(使用料·手数料)	821	466	633	1,100	
入	市債	i	0	0	0	61,400	
	その		50	40	38	50	
		歳入計	871	506	671	1,150	
		一般財源	45,937	63,877	99,628	100,300	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>保全計画に基づく改修工事だけでなく、臨時の修繕工事や環境対策での改修工事も実施した。老朽化に加え、複合施設としての側面もあり、今後も 小規模の修繕工事についても増加の傾向にあるが、予算の効率的な執行のため、創意工夫を継続する必要がある。

6. 今後の方向性 区分 現

今後の

築30年を超える施設の老朽化対策として、修繕については市の保全計画に基づく随時実施とあわせ、緊急性のある修繕についても予算措置等を講 取組方針じていく。

事系	务事	事業実 網	責測定調	書												
事	務事	業名称	授業の達人	養成・)科研究	事業										
;	測定	年度	202	1(R3)年	三度			部	7,	学校教育部		課	孝	效育研修課		
市長	公糸	りとの関係	所信表	明		市	政運営方針	R2		R3		R4				
			į	基本目標	臣	3	一人ひとりの月	成長を支え.	豊かな心を	·育むまち						
総	合計	画体系		施策目標			.子どもたちの				ち					
				:行計画	名											
1. 事		事業の概					41.14		San Inc. I	t Liville				/ 1		
		類	市.	民サート		r tribe:	特性	左座	選択的	り事業		区分		一般事務		
		期間 法令等	教育公務員		5(H18)年	-		年度	~						年度まで	
		助金名称	教育公務員	付別位	: 						اردول دیلا	l				
10 10 10 1											サンセット			~		
対 氷	附得	機関名称	115 5	L*I		1 +2	ンナチ) * #T 2を ナ	マ 北山が 戸								
			メインタ		市内	小甲等	学校に勤務す	る 教職貝								
3	事業	対象	サブターゲット Control of the Control of t													
			_	ターゲットが抱える課 題 名教科・教科外指導等の研究を深め、その成果を共有する機会が不足する												
			_	ターゲットが抱える課												
b	かざ [、]	 す姿、		<mark>題</mark>												
đ	ある・ しが何	, (*) べき姿 解決した状 態)	各教科等の	指導に	おける研	究等が	が深まり、高い	・意欲と優れ	た指導力を	有する教員	が育成され	た状態				
1	事業	概要	○授業の達・外部講師	を人養成 すとして で、学習	講座 (※ F間を通り 指導案の	を段階 ごて大 検討を	め、高い指導 的に『達人』』 学教授等、教 を行い、年間 実施。	に認定する 対育のスペシ	システムを構 /ャリストを招	築する) 聘。		こした「授業の)達人要請詞	構座」を実施		
2. 🏻	ジ	ックモデル	及び指標													
					プウトカム 舌動効果				アウト (活動					プット 動)		
ロジックモデル			受講者が各践する。	学校園	にて研修	内容を		教職員が請 等の研究か	排座を受講し ド深まる。	、各教科· 	教科外指 導					
					⁷ ウトカム 舌動効果				アウト (活動				イン. (活	プット 動)		
指標説明		旨標説明	会議等で伝達したり授業等で実践した割合 【算出式:研修内容を共有・実践した受講者/ 全受講者×100】			た受講者/	受講者の出 【算出式:気		至参加対象	白 ^ 100]	研修実施回					
指	指指標種類		+ <mark>半</mark> hr	オス~1	<u></u> が良いと	<u>値</u> される	% 指煙	+ 台 hr	することが良	単位 Pいとされる		+éhr]することが且	単位	回 指煙	
標指			R2	R3		<u>८४ ७२</u> २४	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
設定	標数	(見込	100	100		00	100	100	100	100	100	12	12	12	12	
	値	(A)	92.40	98.9)			91.20	87.10			10	12			
-		達成度			99%				87	7%				0%	1	
		分析	137人中136 て、伝達した り、前年度と	こり授業	×数)が研 で活用で	きると	回答してお		6人(延べ数 と生徒指導対)が受講して	ており、体調 まき、適切に	100% 間 ア定回数を実施することができた。				

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	2,806	4,785	4,714		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	754	1,540	692		
歳	件	特別職非常勤	_	0	0		
出	費	附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	3,560	6,325	5,406		
	物件	-費計	75	110	90	300	30%
		歳出計	3,635	6,435	5,496		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	·者負担(使用料·手数料)	0	0	0	0	
入	市債	i	0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	3,635	110	90	300	

5. 総括的分析

総括的分析

枚方市教育振興基本計画に基づき、知・徳・体のバランスがとれた質の高い教育の実現をめざし、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教員の育成を図るとともに、各教科等の指導における研究を深め、その成果を市内学校園に広めることをもって、枚方市の子どもたちの確かな学力を育成し、生きる力を育むことを目的として、「授業の達人養成講座」を実施している。令和2年度から2年間を通して講座を受講することで、優れた指導力を有する教員を育成多数育成することができた。

6. 今後の方向性 区分 ^現 現状維持

今後の 取組方針

令和4.5年度の「授業の達人養成講座」受講者を募り、引き続き、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教員の育成を図る。

車	-	業名称	責測定調 枚方市教職		长										
_	測定			1(R3)年度	R		部	Þ	学校教育部	?	課	-	教育研修課		
		との関係	所信表明	. ,	古	政運営方針	R2		R3	,	R4		以自训修床		
אַ נווי	. A 113	この対応		基本目標		一人ひとりの		豊かな心を			114				
総	合計	画体系		施策目標		.子どもたちの				きち					
		III		行計画名	16	-1.自ら考え生	生きる力と学	力を育む教	で有の推進						
1. 事		事業の概		코-14 12 7		₩± ₩		\22.4U A	万事业		区分		加古型	7 由 光	
	<u>種</u> 事業		1TT	ミサービス 不		特性	年度	迭 // 1	的事業		区分 一般事務事業 年度まで				
		长 令等	教育公務員		,,	:	1/2							1200	
関係	系補貝	力金名称								サンセット	~				
関係	附属	機関名称							•		•				
			メインタ-		市内小中	学校に勤務す	る教職員								
:	事業	対象	サブター		×	A 41 (1 11 - 2) (1		// w/ / >			. 156 3 141	Lana mar.	1	6	
			ターゲットカ 題	_		や生徒指導、 おいた研修及						育課題に対	でするため ^の	り経験年数	
,	めざす	上次	題 や職務に応じた研修及び専門的な知識・技能に応じた研修の機会が不足する												
đ	あるへ	くき姿 は決した状													
	事業		て、本市のり ・「『学び続い 修」及び「専 ・学習指識を ・の大方育 ・枚方育フォー	見童・生徒 <i>の</i> する教職員。 門研修」を 要領を踏また 軽験を有す 実施。 取り組んでい ーラム」を実	り確かな学』 を育成し、 計画・実施。 えた授業づる校長経 いる「教育」	育成を図るとと 力を育成し、 枚方の子ども 。 くり、授業改き 競者等)が学々 を広く市民に	生きる力を育ったちの『生き ったちの『生き 善及び教員 校園を訪問	育む。 きる力』をは [。] の授業力の し、経験年数	ぐくむ」こと 向上等に「 女の少ない	を目標に、各 句け、指導主 教員への指	・年度ごとに 事や教育推 算助言、校内	3点の重点項 進プランナ・ n研修等での	頁目を指定し ー(学校教育)指導助言、	、「基本のでは関してでは、 学校運営	
⊏	ジッ	クモデル	及び指標	設定											
				アウI (活動				アウト (活動	·プット 結果)				プット ·動)		
ロジックモデル		'モデル	研修を受講 内容を各学 り、授業等で	校園におい		句上し、研修 で伝達した	教職員が講 を習得する		、専門的な	知識•技能	小中学校の 実施する。)教職員に当	テャリアに応い	ごた研修を	
				アウ ^ト (活動	- カム 効果)				·プット 結果)				ブット ·動)		
	指	標説明	会議等で伝 【算出式:研 全受講者×	修内容を伝		た四世型 /	受講者の出 【算出式: st	は席率 を講者/講座	座参加対象	全者×100】	研修実施區	可数			
4F.	tE	標種類	14 并由	- ナスァしが F	単位	% 注语	1件 拍4	1-ナスァしが F	単位	% 性描	抽扣	コナステレがリ	単位	日	
指 標	指	保理知	昭加 R2	することが且 R3	R4)拍悰 R5	昭加 R2	コすることが且 R3	R4	D扫惊 R5	昭加 R2	19 ることかり R3	良いとされる R4	扫棕 R5	
設	標	日標(見込	100	100	100	100	100	100	100	100	230	230	230	230	
定	数値	<i>み</i>)			100	100			100	100			200	200	
		実績	92.40	96.70	70/		97 96.10 96%				183 186				
		全成度 分析		こり授業で活	7人が研修 5用できると		ており、体調		 Oうち、6926 な生徒指導		. 室の研修など、新室コロケリイル人の感染状況に応じた研修体系で実施することができ				
					-カム			アウト (活動	·プット 結果)		た。		プット ·動)		
ロジックモデル②			研修を受講 内容を各学 り、授業等で	した教職員校園におい	の資質が向いて会議等で	向上し、研修 で伝達した	支援を受け 等について	た教職員が		や指導方法		プランナー・	学校支援アト 教員等への		
				アウI (活動	·カム 効果)				·プット 結果)				プット 動)		
	指	標説明	会議等で伝 【算出式:研 全受講者×	修内容を伝		上亚进业/	支援を受け 者)	た教職員数	((初任者· 単位	,	学校園の記	坊問回数	単位	口	
指	指	/標種類	増加	することが且			増加]することが』		<mark>┃ 人 </mark> ó指標	増加]することが1	臭いとされる		
標	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
指標設定	標	(見込	100	100	100	100	300	300	300	300	1,000	1,000	1,000	1,000	
2	数値	実績	92.40				337	347			495	544			
			32.40	0/	70/		33 <i>1</i>	<u> </u>	60/	1	490		40/	<u> </u>	
	1	達成度			7%				6%			5	4%		
		分析			用できると	:回答してお		年目の教諭 明教職員の研			新型コロナウィルス感染対策を講じたうえで、 可能な範囲で学校訪問、支援を行った。				

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	7.95
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	4.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	75,648	67,389	62,463		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	18,174	13,868	15,413		
歳	件	特別職非常勤	_	0	0		
出	費	附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	93,822	81,257	77,876		
	物件	費計	6,278	3,420	10,842	12,409	88%
		歳出計	100,100	84,677	88,718		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料·手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	100,100	3,420	10,842	12,345	

5. 総括的分析

総括的分析

「学び続ける教職員」を育成し、枚方の子どもたちの「生きる力」をはぐくむことをめざし、基本目標を「教職員研修・研究の充実による教職員の資質と 指導力の向上~子ども理解を基盤とした、「学びに向かう力」を育む授業力・指導力の向上を図る~」と設定し、目標の達成に向けて適切な内容、回 数で研修を実施することができた。また、6926人の受講者中6697人が研修内容について、伝達したり授業で活用できると回答しており、研修内容を 学校運営や授業に活かすことができている。

6. 今後の方向性 区分 ⁵ 現状維持

今後の 取組方針

研修内容や回数を精査し、来年度以降についても適切な研修を立案・計画し、実施していく。

事系	务事	業実績	責測定 調	書											
事	務事為	業名称	理科教育部	设備整備	事業										
	測定年	丰度	202	21 (R3) 4				部	当	之校教育部	ß	課	į	教育研修課	
市長	公約	上の関係	所信表	明		市	政運営方針	R2		R3		R4			
			-	基本目	票	3	一人ひとりのほ	戊長を支え	、豊かな心を	育むまち					
総	合計區	画体系	į,	施策目	票	16.	子どもたちの	生きる力を	育む教育が	充実した。	まち				
				行計画	i名										
1. 事		業の概		L. Jan A-A	· · · ·		44.10		. I . der	-t-26				dette of a share Arth	* +m -l- = z/-
	種類 事業期		F	为部管3	<u>里</u> 不明		特性	左曲	内部 ~	事務		区分		一般内部管	・ 生事務 年度まで
	尹未5 見拠法	93113	理科教育提	三個汁	个明			年度	~						十尺より
- 1-	~,,_,	金名称	生件叙目加	以兴仏						1	ارديط، ديلا				
											サンセット			~	
) (月)	附偶的	機関名称	1.45	/ % /	-41		1/ lds =) ~ - - - 	L 2 8 1.1 17. 1 2. 4	,					
			メインターゲット 市内小中学校の年度ごとの選定校が対象となる。												
	事業対	付象	サブターゲット												
			ターゲットフ	_				監委員の定	期監査による	5指摘事項	頁を受け、各格	どにおける備	品台帳の適	i正な管理運	営に努め
				<u> </u>		要があ) つ								
			ターゲット7 是		5課										
δ	かざす	·姿、			•										
	あるべ		市内小中学	と校によ	いて理系	教育	没備が整備さ	れ、適切に	管理された	犬熊					
(課題	か解説	決した状	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<i>p</i>		1 2011	2011111		<u></u>	, ,,,,,					
			国の理科参	方 設備	整備費等	6補肋/	全を活用して	小中学科	がの理科教育	における	実験・観察の	左宝を図る -	シを目的と	て 数材の	現有窓の
	事業概	既要 ————					備品の整備			(0401)	人心人 威尔。				
2. 🗆	ジッ	クモデル	及び指標	設定											
					アウトカム				アウト					プット	
				(.	活動効果	:)			(活動	花未)			(活	·動)	
	ンツク	モデル						整備された	教材を適正	に管理し、	実験·観察	各校の理科教材の購入を補助する。			
								等の内容な	が充実する。			合伙の理科教材の購入を補助する。			
				-	アウトカム				アウト	プット		インブット			
					活動効果				(活動					·動)	
								現有率							
	培护	標説明						【算出式:理	見有する理科		額/各校の	補助金交付	1決定額		
	111	ホルツ						基準金額の	り総額×100						
					<u>]</u>	単位				単位	%			単位	円
指標種類								ロすることが良					良いとされる		
指煙	指	日保	R2	R3		R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
標設	標数	(見込						100	100	100	100	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
定	値	実績						48.89	48.30			1,467,000	1,499,000		
	達	成度							48	1%	1			<u></u>	
								は田づむか			いて「皮充				
								使用 ぐさな	いような古い 教材を購入す	教材につ ス機会が	いく、発業 ・増加してい			の内定額に	
	3	分析						るため、指	標としては低	下している	るが、教材の	れるため、	金額の調整	は困難である ものとして、	5が、理科
								購入につい	ヽて一定落ち	着いた段	階で指標が	教材の購入用していく。		しいこして、	コマ形で石
								再度增加作	頭向に向かう.	と思われる) _o	,			

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	2,004	1,994	2,043		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	2,004	1,994	2,043		
	物件	費計	3,974	2,936	2,776	3,500	79%
		歳出計	5,978	4,930	4,819		
		支出金	1,987	1,467	1,330	1,750	
	府支		0	0	0	0	
歳		者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	1,987	1,467	1,330	1,750	
		一般財源	3,991	1,469	1,446	1,750	

5. 総括的分析

教材の現有率については、使用できないような古い教材について、廃棄し、新しい教材を購入する機会が増加しているため、指標としては低下してい <mark>総括的分析</mark>るが、教材の購入について一定落ち着いた段階で指標が再度増加傾向に向かうと思われる。また、補助金交付額についても、国の内定額をもとに、 適正に交付を実施している。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 理科の実験や観察などの内容が充実するよう、引き続き教材の確保と適正な管理に努める。 取組方針

事系	务事	業実績	責測定調												
事	務事	業名称	教育研修課題	重営事務											
	測定	年度	2021	(R3)年度	Į.		部	À	学校教育部	邻	課		教育研修課		
市長	公約	との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4				
				本目標		9.施策体系外									
総	合計	画体系		策目標		99.施策体系外									
4 7	= 7 <i>h</i> :	市 米 の 切	実行	計画名											
1. 킠	F務· 種	事業の概	岁	部管理		特性			り事務		区分				
		期間	L J.	即日庄		1寸1土	年度	~	り事伤		レ 刀)	次42011 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	年度まで	
		去令等	決裁等			i	1/2						•	1250	
		助金名称								サンセット			~		
		機関名称													
1243 1014	1177	100100 = 11	メインター	ゲット	教育研	修課職員									
	 **	-11 <i>-</i> 25	サブター		2013 97	12 811 1902									
	争耒	対象	ターゲットが		3m - 3m	W. P.	\. \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\								
			題		球の連	営を円滑に図る	必要かあ	ら 。							
			ターゲットが	抱える課											
	1 18	L \hr	題												
		す姿、 べき 姿													
(課題	見が角	発した状	課の運営が尸	引滑に行	われてい	る。									
	怠	░)													
	事業	概要	課の運営業務	务											
	- **	·	7 - 3 5 7 - 2												
2. ∟	リシッ	クモテル	及び指標設定 アウトカム アウトブット インブット												
					トカム カ効果)				・プット I結果)			イン	プット 動)		
				(/白男				(/白男	作本/			(/=	1 美月 /		
	A	7モデル													
ш	ンツン	モナル													
				アウ	トカム			アウト	プット		インプット				
				(活動	放果)			(活動	は果)			(活	動)		
	推	標説明													
+15	+1:	2十冊 1手 坐下			単位	Ĺ			単位				単位		
指標		信標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
設定	指煙	日信	112	110	114	110	112	110	114	110	11/2	110	114	110	
定	標数	(見込 み)													
	値	実績													
		達成度													
	分析														

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	1.69
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.15
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付			13,278		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			234		
		特別職非常勤			0		
		附属機関委員			0		
		人件費計			13,512		
	物件費計				1,362	1,886	87%
	歳出計				14,678		
歳入	国庫支出金				0	0	
	府支出金				0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)				0	0	
	市債				0	0	
	その他				0	0	
	歳入計				0	0	
一般財源					1,166	1,340	

5. 総括的分析

当課の事務所は、令和3年より、2つに分かれて所在しており、教育文化センターでの研修業務が円滑に実施されるよう、2所体制での円滑な業務の 総括的分析 運営方法 が必要となっている。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 取組方針

引続き、当課の運営事務を効果的に実施していく。